

# 指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度		
施設名	金属鉱業研修技術センター(本館除く)	設置年	平成 2 年
所在地	秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館9-3		
指定管理者	小坂町づくり株式会社		
県所管課	クリーンエネルギー産業振興課	金属リサイクル	チーム

## 1 施設の概要

設置目的	金属鉱業その他これに関連する産業に関する知識及び技術の普及指導及び研修を行い、本県の金属鉱業等の振興を図る。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 環境・リサイクル産業の振興を図る。					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための 取組として施設に求められているもの ・金属資源等のリサイクルの促進に向けた研究 ・使用済み太陽光パネルのリサイクル拠点の形成					
施設の面積	①宿泊棟:延床面積 1,955.17㎡ ②ゲストハウス:延床面積 352.927㎡ ③レストラン:延床面積 259.12㎡ ④渡り廊下:延床面積 253.4㎡					
主な設置施設	宿泊棟1棟、レストラン1棟、渡り廊下 など					
指定管理業務の内容	料金制	有 (利用料金併用制)				
	料金設定	宿泊料金に関しては別紙。				
	サウンディング実施対象施設※	○				
	指定期間	R3.4.1 ~ R8.3.31				
	営業期間・時間	宿泊棟:年末年始以外営業 レストラン:6時30分-9時 11時30分-14時 17時-20時 ※定休日:火				
		(1)使用の許可、使用許可の取り消し、並びに使用の制限及び停止に関する業務 (2)施設及び設備の維持管理に関する業務 (3)金属鉱業その他これに関連する産業に関する情報の提供に関する業務				
自主事業の内容	・地域の宿泊施設・飲食施設に合わせた料金水準の設定 ・レストランの宴会等利用にかかる、地域企業を対象としたセールス活動の展開 ・レストラン青銅館による、二食付宿泊プランの提供 ・地元食材を使った料理の提供と、黒鉱をテーマにした地域性・話題性のある商品の開発					
直近3年の年間利用者数	R4	24,075 人	R5	25,449 人	R6	25,711 人
直近3年の年間利用収入	R4	76,240 千円	R5	91,948 千円	R6	95,653 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6
収入計		0	61,784	89,998	104,565	106,475
利用料金収入			48,308	76,240	91,948	95,653
指定管理料			6,966	6,966	6,966	6,966
その他収入			6,510	6,792	5,651	3,856
支出計		0	61,974	91,019	105,566	107,482
人件費			33,271	48,619	56,092	60,480
光熱水費			11,529	14,787	15,121	14,410
修繕費			952	1,120	1,918	1,182
外部委託費			775	863	856	1,555
その他経費			15,447	25,630	31,579	29,855
差引		0	▲ 190	▲ 1,021	▲ 1,001	▲ 1,007

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

## 2 観点ごとの評価

### <観点 I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

#### 【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

#### ○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

#### ○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和6年度 の目標	利用収入 94,700千円
--------------	---------------

#### ○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	実績	95,653千円	達成率	101.0%
	具体的な 取組と その効果	・令和6年度は、鉱業関連の研修生の受入を基本としながら、スポーツを中心とした教育旅行やインバウンド団体など一般客の受入も行った。 ・個人客に関しては、Web販売を中心に、「康楽館」「小坂鉱山事務所」「小坂七滝ワイナリー」など地域施設を活用した宿泊プランの販売を行った。		
直近3年 の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度
	目標	64,157	60,105	84,590
	実績	58,550	76,240	91,948
	達成率	91.3%	126.8%	108.7%
令和7年度 の目標 (設定根拠)	目標	利用収入 98,500千円		
	設定根拠	令和7年度は、鉱業関連研修生の受入のほか、修学旅行やスポーツ合宿団体、インバウンド団体等を対象とした宿泊強化を図るとともに、一般客においては、繁閑を失火R値見極め、適正な価格設定に努める。 Web予約を中心に、「付加価値」を持つ宿泊プランを展開し、お客様の満足度を深めながら利益を生み出せる体質を作る。 以上の背景により、令和7年度の利用収入は、令和6年度比3%増を目標値として設定するものである。		

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

### <観点 I> の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	令和6年度は、鉱業関連研修生・一般観光客ともに増加し、目標を達成することができた。
県 (所管課)	A	令和6年度は、利用収入が増加していることから、目標を達成した。	

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。  
 また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

<観点Ⅱ> 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	97.8%		
	具体的な 取組と その効果	フロントやレストランの作業マニュアルの熟成、マナー研修の実施など、従業員教育による質の向上を進めた。その結果、じゃらんネットのサービス評価は、目標4.5に対して4.4と高評価をいただいている。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	R4年度	R5年度	
	90.0%	90.0%	93.3%	

<観点Ⅱ>の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	
県 (所管課)	A		宿泊予約サイトの利用者の評価が低いことから、満足度は高水準を維持しているものと評価できる。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: 満足度80%以上 B: A及びC以外 C: 満足度60%未満

<観点Ⅲ> 効率性の向上等に関する取組

(1) 経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	電力デマンド監視システムにより節電に取り組んだ結果、電気料金が令和5年度比で4.7%減少した。レストランにおける食材費高騰への対応として、地元農家等からの直接仕入れや真空調理の活用により保存方法の見直しによる食品ロス対策を徹底し、経費削減に努めた。経費総額では、令和5年度比で1.8%増加した。
	具体的な 取組と その効果	電力デマンド監視システムによる電気使用量の可視化を行うことにより、ピーク使用量を管理徹底し、基本料金を削減した。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2) 収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	利用収入は、令和5年度比で4.0%増加した。
	具体的な 取組と その効果	・一般客からの利用料を増加させるべく、宿泊予約サイト総合管理システムを活用した客室在庫提供を実施した。 ・宿泊プランにコーヒー付きプランを作成し、付加価値を付けた単価アップを実施した。

＜観点Ⅲ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	・利用収入は4.0%増加した。 ・経費は1.8%増加したが、電気料金・燃料費の高騰を考慮すると、節電対策等の効果により上昇幅は一定程度抑えられたことから評価はBとした。
	県 (所管課)	B	・経費の低減については、節電対策を実施して電気料金は減少したが、物価高騰や人件費の増加の影響で、5%以上の改善とはならなかった。 ・収入の増加についても、前年度比5%以上改善には至らなかったことから、総合でB評価とする。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B:A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営状況の安全及び健全性 宿泊については、研修生以外にスポーツ団体等の受注を強化したほか、予約受注時に要望等を聞き綿密な調整を実施した。 また、受入の際は、非常口・避難経路の説明を徹底し、災害等への対応構築により、安全・安心第一に努めた。</li> <li>・人員配置 導入したフロントシステムを活用し、ホテルにて経理業務全般が出来るよう推進した。</li> <li>・職員の資質向上 フロントやレストランの作業マニュアルの熟成、マインド・マナー研修の実施など、継続的な従業員教育による質の向上を進めた。</li> <li>・安全管理 食品検査や県弁当の法廷検査を実施し、賠償責任保険に継続加入、火災訓練の実施、救命講習への参加を積極的に行った。</li> <li>・個人情報の取り扱い 個人情報保護法に基づいた、宿泊レジカードの管理運用と保管については、施錠可能な場所を設定し法令にのっとり管理を行った。</li> </ul>
--------------	--

＜観点Ⅳ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	実績報告に記載のとおり、施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県 (所管課)	A	施設の安定的な運営に加えて、委託している施設維持管理業務についても、適切に行われている。

【評価基準】 A:順調(改善点なし)、B:概ね順調(重大な問題点なし)、C:改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

## 【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

### ○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

- ・鉱業振興に係る技術開発や研修・交流事業の実施、環境リサイクル産業の普及啓発を行うこととする県の施策に沿って、研修の受入機能を担っている。
- ・指定管理業務が適切に行われていることにより、本施設の機能が維持されている。

### ○施設運営の課題

- ・老朽化した施設及び設備を更新・修繕する必要がある。

### ○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

- ・施設の機能を維持するため、老朽化した施設及び各種設備の修繕を計画的に実施していく。